



東和薬品株式会社

平成26年3月期 第1四半期決算補足説明資料

2013年8月

(証券コード:4553)

まとめ

- ・ 売上高は、前年同期比6.2%増。4月は前年の反動で下回ったが、5月以降は対前年同月比約10%増で推移している。対計画では5月は計画を上回ったが、それ以外はほぼ計画通り進捗している。
- ・ 売上原価は、前年同期比5.3pt増。主な要因は以下の通り。
 - ・ 大地化成連結による影響: 0.9pt
 - ・ 減価償却費の増加: 1.9pt
 - ・ 外注加工費の一時的な増加: 2.2pt
- ・ 販売管理費は、前年同期比7.3%増。要員増に伴う人件費の増加の影響が大きい。研究開発費は前年より下回っているが、大地化成を連結した影響により、東和薬品から大地化成への委託研究費、原薬加工費など(今期1Q: 143百万円)が内部消去されており、実質的には研究開発費は前年より増加している。一方、対計画では、研究開発費約3億円、広告宣伝費約2億円が未達。いずれも2Q以降に期ずれの見込み。
- ・ 営業利益は、前年同期比27.5%減。対計画では、販売管理費の未達の影響で上回っているが、2Qではほぼ計画通りと見ている。
- ・ 山形工場の稼働状況は前期末の月産3000万錠から、現在5000万錠程度まで上昇しており、当初見込んでいた初期稼働目標(月産6000万錠)に到達しつつある。
- ・ 今決算より、大地化成を連結決算の対象としている。
- ・ 業績見込みは修正していない。
- ・ なお、大地化成の原薬製造工場建設が遅れており、当初計画よりも製造開始時期が半年以上遅れる見通し。

2014年3月期第1四半期決算概要

期 項目	14/3 1Q			13/3 1Q	
	金額 (百万円)	対売上高 比率(%)	前年同期 比(%)	金額 (百万円)	対売上高 比率(%)
売上高	14,605	100.0	+ 6.2	13,755	100.0
売上原価	7,741	53.0	+ 18.0	6,558	47.7
販管費	5,078	34.8	+ 7.3	4,732	34.4
営業利益	1,786	12.2	- 27.5	2,463	17.9
経常利益	1,817	12.4	- 18.6	2,233	16.2
四半期純利益	1,199	8.2	- 12.2	1,367	9.9

(為替レート)
1ドル

2013/6
97.59円

2013/3
93.05円

2012/6
78.31円

2012/3
81.19円

2014年3月期第1四半期決算概要

期	14/3 1Q (大地化成を含まない13/3と同じ連結ベース)			13/3 1Q	
	金額 (百万円)	対売上高 比率(%)	前年同期 比(%)	金額 (百万円)	対売上高 比率(%)
売上高	14,605	100.0	+ 6.2	13,755	100.0
売上原価	7,608	52.1	+ 16.0	6,558	47.7
販管費	5,222	35.8	+ 10.3	4,732	34.4
営業利益	1,774	12.2	- 28.0	2,463	17.9
経常利益	1,807	12.4	- 19.1	2,233	16.2
四半期純利益	1,189	8.1	- 13.0	1,367	9.9

2014年3月期第1四半期決算概要

(対第2四半期計画進捗率)

期	14/3 1Q			14/3 2Q計画 (5月14日発表)	
	金額 (百万円)	対売上高 比率(%)	進捗率 (%)	金額 (百万円)	対売上高 比率(%)
売上高	14,605	100.0	51.4	28,400	100.0
売上原価	7,741	53.0	55.3	14,000	49.3
販管費	5,078	34.8	43.0	11,800	41.5
営業利益	1,786	12.2	68.7	2,600	9.2
経常利益	1,817	12.4	69.9	2,600	9.2
四半期純利益	1,199	8.2	68.6	1,750	6.2

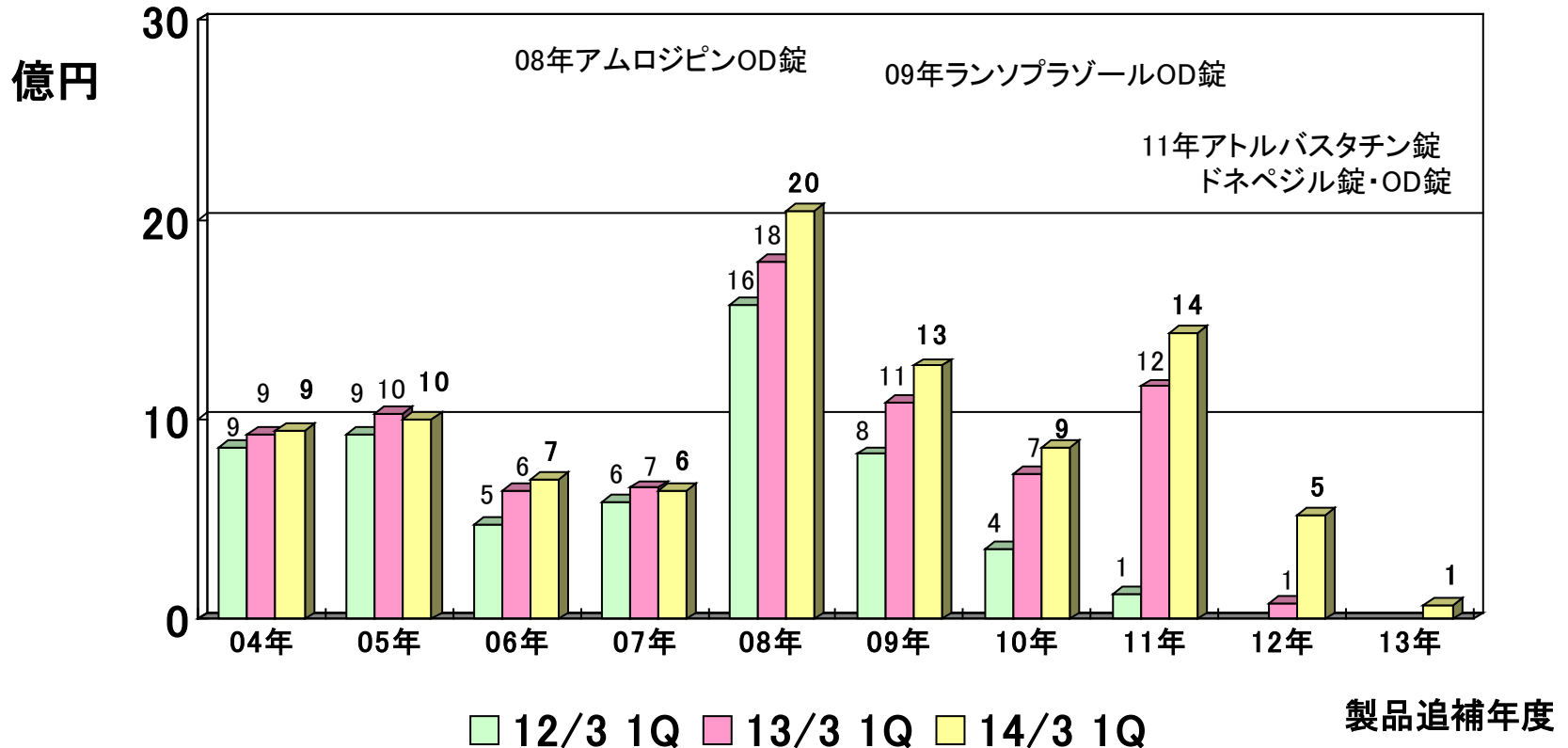
2014年3月期第1四半期決算概要

(単体)

期 項目	14/3 1Q			13/3 1Q	
	金額 (百万円)	対売上高 比率(%)	前年同期 比(%)	金額 (百万円)	対売上高 比率(%)
売上高	14,232	100.0	+ 6.4	13,381	100.0
売上原価	7,396	52.0	+ 16.6	6,343	47.4
販管費	5,096	35.8	+ 10.6	4,609	34.5
営業利益	1,739	12.2	- 28.4	2,428	18.2
経常利益	1,774	12.5	- 19.2	2,195	16.4
四半期純利益	1,170	8.2	- 13.1	1,347	10.1

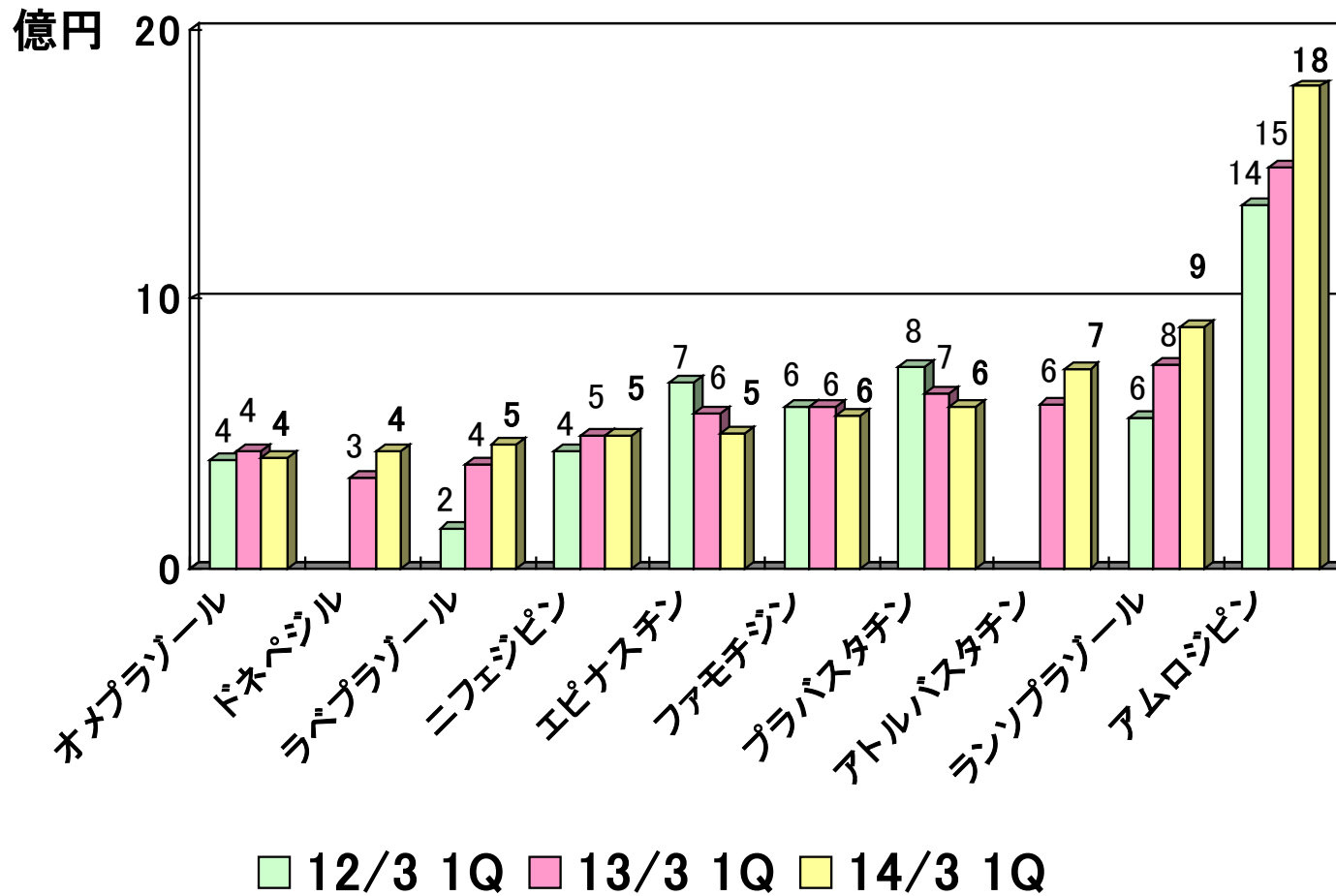
追補年度別売上高推移

08年追補以降の売上が順調に伸長した。



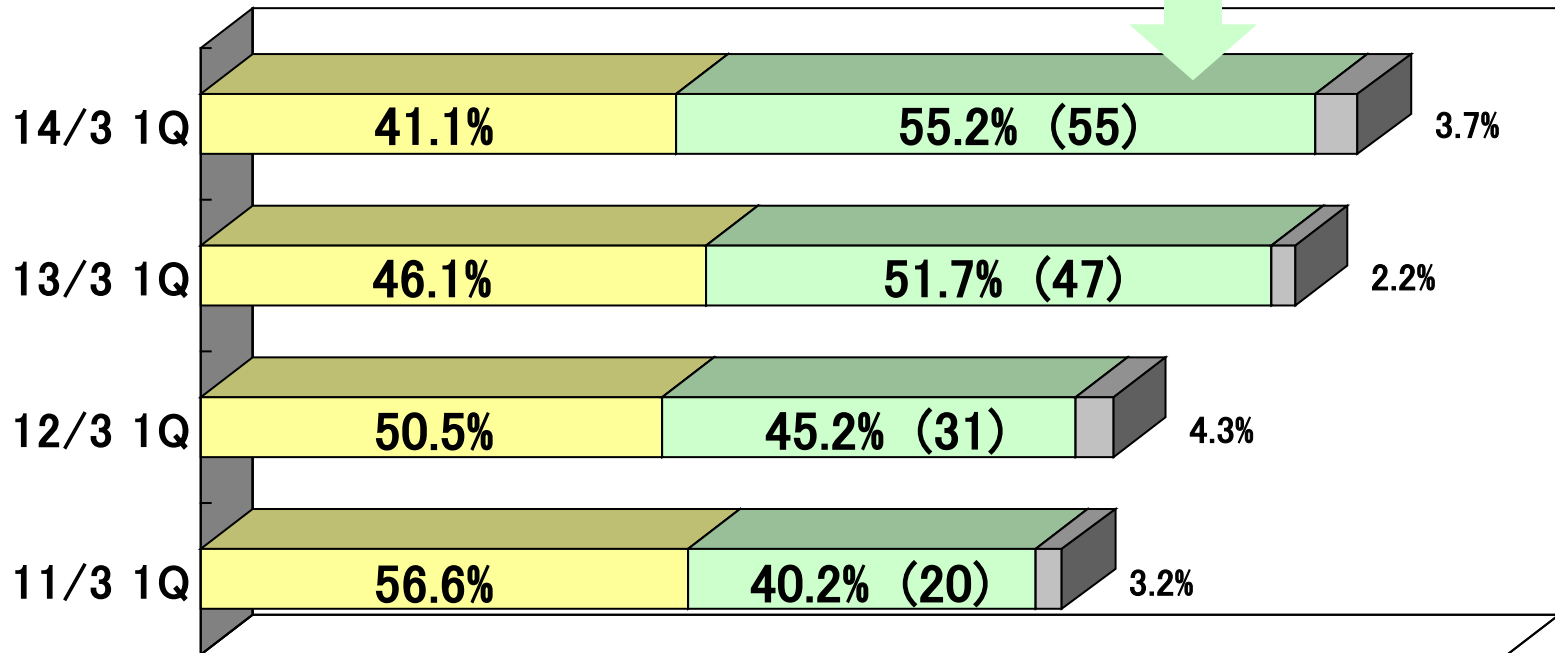
主要製品売上高推移

アムロジピン、ランソプラゾールなどが順調に成長した。



売上高詳細(販路別)

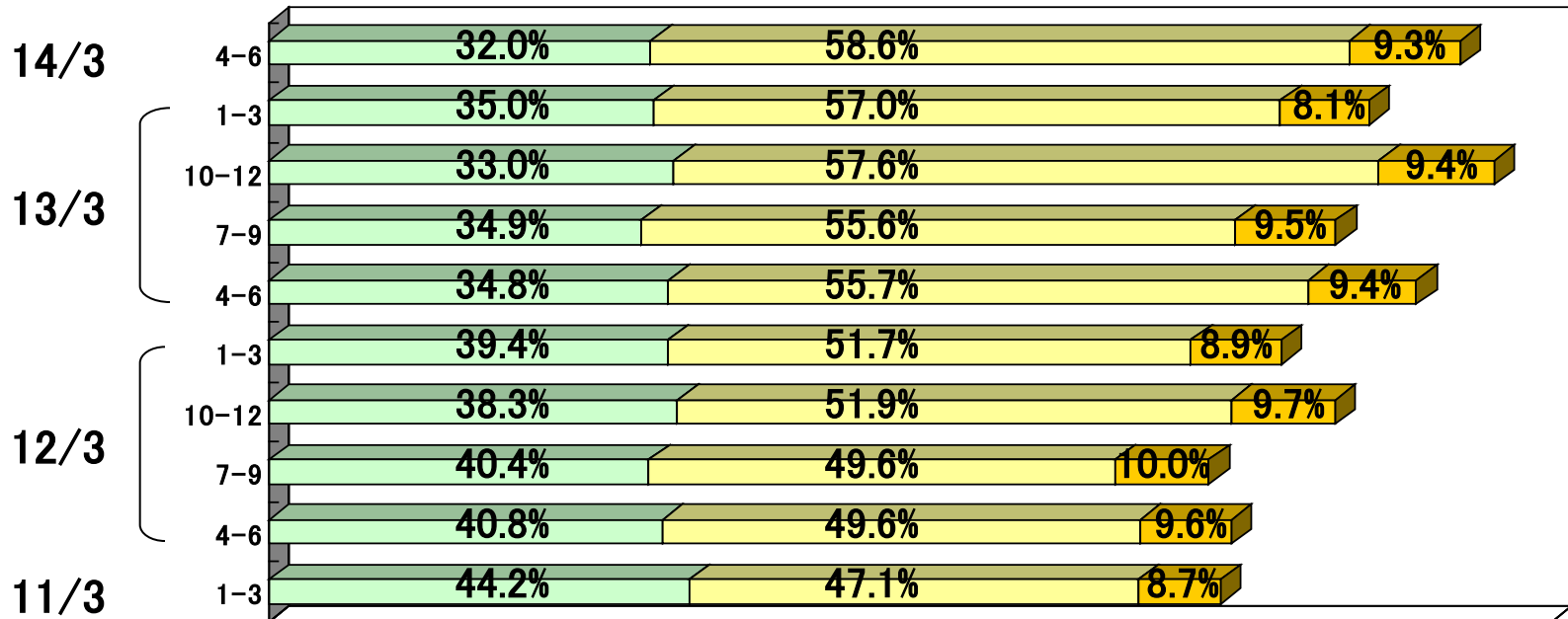
代理店の営業所化・営業所の新設、本社取引の拡大などにより、直販比率が増加。
()は営業所数



■ 代理店 ■ 営業所・本社 ■ その他(他社販売・受託・輸出)

売上高詳細(納入先別)

納入先別の割合に大きな変化はない。



■ 診療所 ■ 保険薬局 ■ 病院

(他社販売等を除く。診療所+保険薬局+病院を100%としている。)

販売費及び一般管理費

期	14/3 1Q			13/3 1Q	
項目	金額 (百万円)	対売上高 比率(%)	前年同期 比(%)	金額 (百万円)	対売上高 比率(%)
人件費	2,398	16.4	+ 12.2	2,137	15.5
研究開発費	980	6.7	- 3.3	1,013	7.4
広告宣伝費	246	1.7	+ 35.8	181	1.3
その他	1,452	9.9	+ 3.8	1,399	10.2
販管費	5,078	34.8	+ 7.3	4,732	34.4

販売管理費は、前年同期比7.3%増。要員増に伴う人件費の増加の影響が大きい。研究開発費は前年より下回っているが、大地化成を連結した影響により、東和薬品から大地化成への委託研究費、原薬加工費など(今期1Q:143百万円)が内部消去されており、実質的には研究開発費は前年より増加している。一方、対計画では、研究開発費約3億円、広告宣伝費約2億円が未達。いずれも2Q以降に期ずれの見込み。

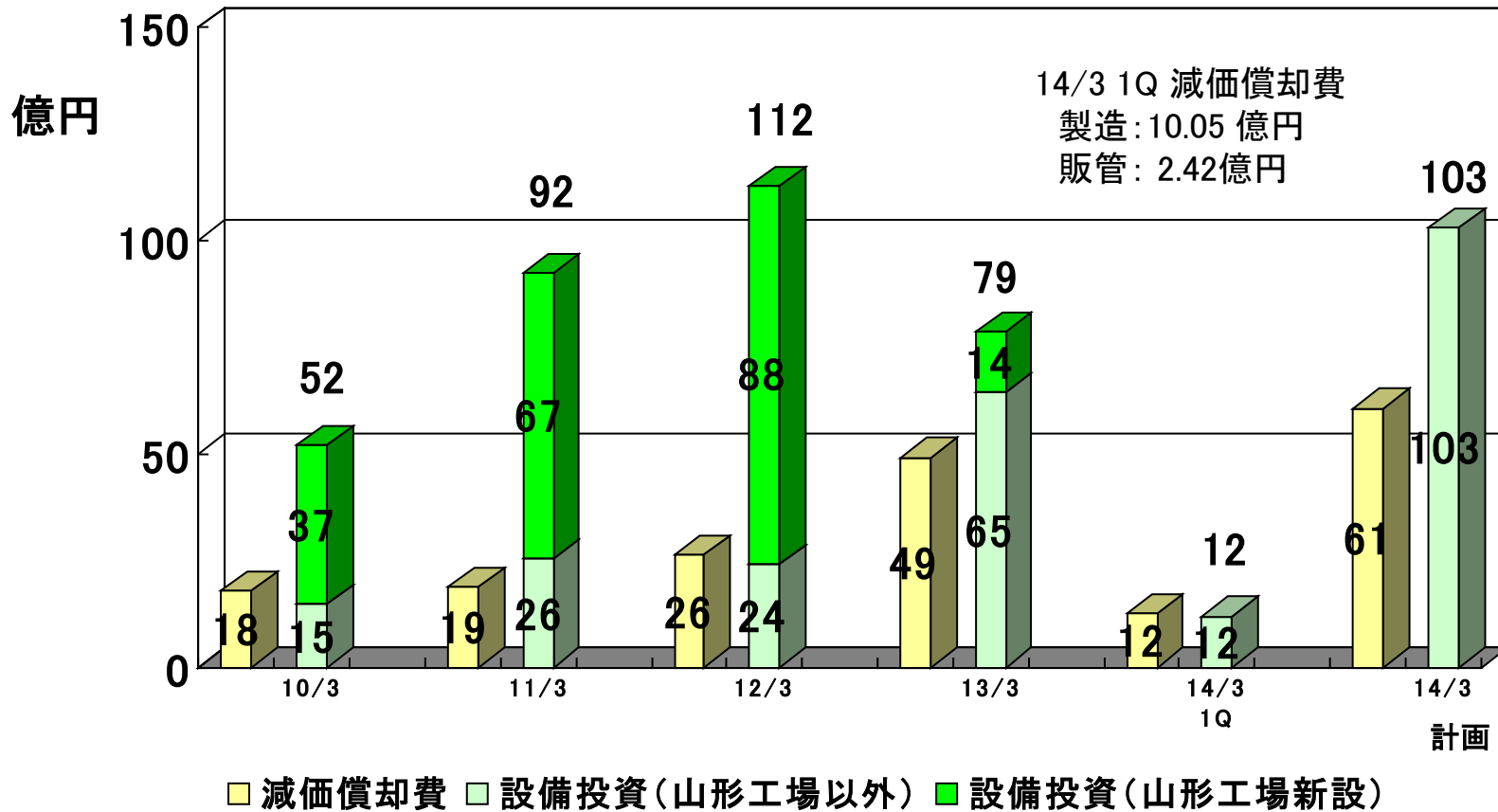
貸借対照表

(百万円)

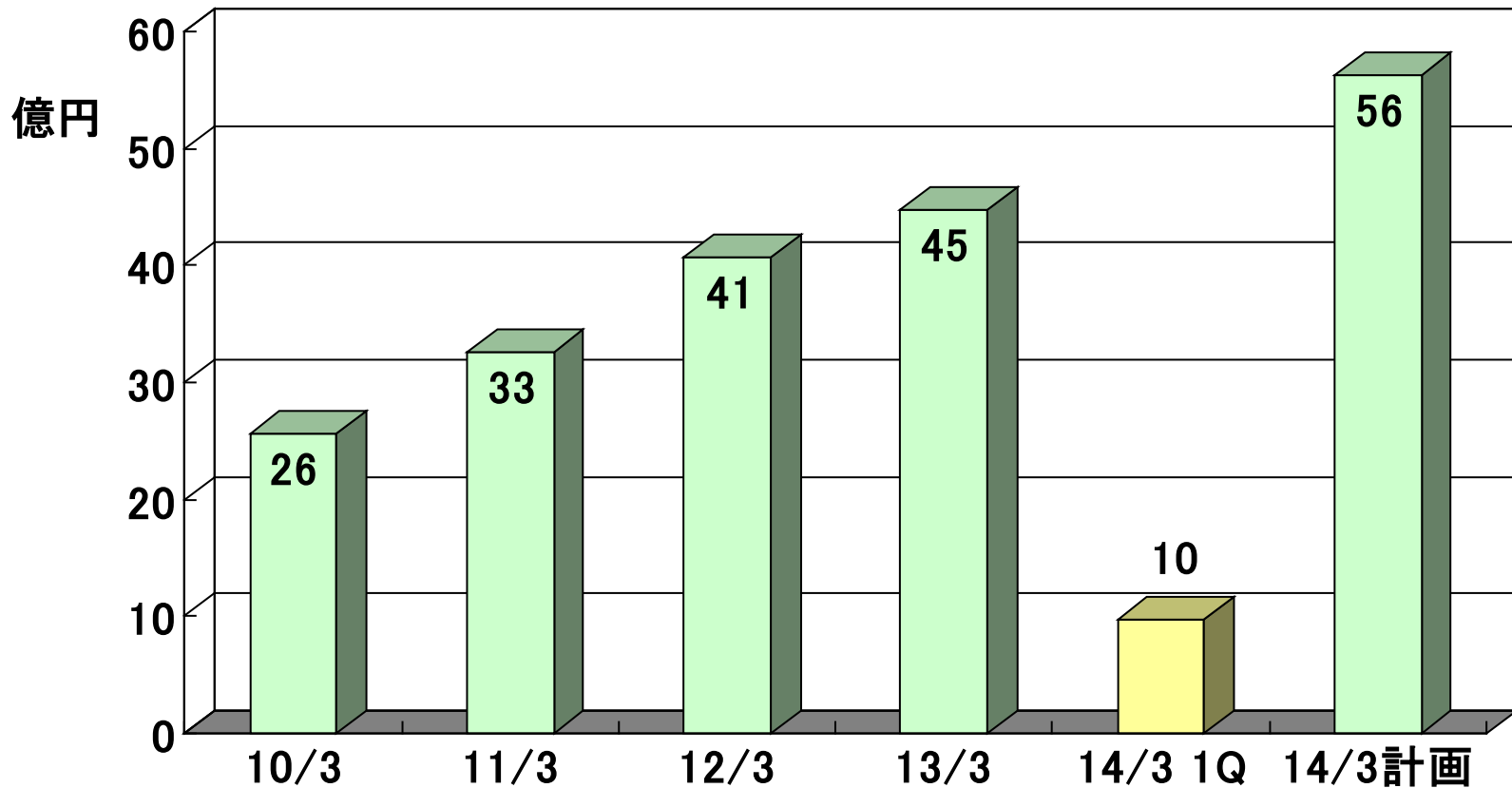
項目	13/6	13/3	増減
現金及び預金	4,050	3,485	+ 564
受取手形 及び売掛金	17,251	17,217	+ 34
有価証券	1,000	3,000	- 2,000
商品及び製品	10,252	10,450	- 198
その他流動資産	13,392	12,895	+ 496
流動資産計	45,946	47,049	- 1,103
建物及び構築物	20,971	21,271	- 300
機械装置及び運 搬具	8,758	8,388	+ 370
その他固定資産	12,742	12,996	- 253
固定資産計	42,473	42,656	- 183
資産合計	88,419	89,705	- 1,286

項目	13/6	13/3	増減
支払手形 及び買掛金	7,677	7,482	+ 194
1年内返済予定 の長期借入金	2,925	2,825	+ 100
未払法人税等	402	1,667	- 1,264
その他流動負債	6,560	7,543	- 983
流動負債計	17,566	19,519	- 1,953
長期借入金	13,158	12,908	+ 250
その他固定負債	1,703	1,667	+ 36
固定負債計	14,862	14,575	+ 286
負債合計	32,428	34,095	- 1,666
純資産合計	55,991	55,610	+ 380
負債・純資産 合計	88,419	89,705	- 1,286

設備投資・減価償却費



研究開発費



大地化成の原薬製造工場建設について

原薬製造工場建設【2013年2月発表】

- ・ 工期:2013年3月～2014年3月（2014年4月製造開始）
- ・ 総投資額:約55億円
- ・ 目的
 - － 当社製品の安定的な原薬確保へ向けた強化策の一環
- ・ 年間20～30品目の原薬製造を予定（東和薬品の販売する製品の原薬数:約300）

進捗状況

- ・ 2013年3月に着工したが、その後、建設用地に地中埋設物があることが判明し、工事が中断している。
- ・ 工場建設に向け、善後策を検討中。
- ・ 2014年4月としていた製造開始時期は、半年以上遅れる見通し
- ・ 今期の業績に与える影響は軽微。今期の設備投資額にもいまのところ変更はない。
- ・ 詳細がまとまり次第開示する予定。

＜お問い合わせ先＞

東和薬品株式会社 経営企画部

ir@towayakuhin.co.jp

TEL : 06-6900-9101

FAX : 06-6900-0634

将来予想に関連する記述については、目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。予想と異なる結果になることがある点を認識された上で、ご利用下さい。